

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第3077号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

3/11

平成26年
(2014)
(毎週火曜日発行)

発行所 輸送経済新聞社 ©
本社 ☎03(3206)0711(代)
編集企画部 ☎03(3206)0713(代)
営業部 ☎03(3206)0717(代)
中部支社 ☎052(451)7101(代)
関西支社 ☎06(6449)5021(代)
URL: <http://www.yuso.co.jp>
E-mail: yk@yuso.co.jp
発行者 小平 亨

遺品整理

「買い取り」でトラブル

運送業者参入増えるが

運送事業者の参入が進む「遺品整理業」で「買い取り」に関わるトラブルが多発している。

遺品整理の専門家を養成する遺品整理士認定協会(北海道千歳市)によると、宝飾品などの遺品を売った後、「安すぎたのでは」と問い合わせる利用者が増加。同協会是对策として、十日から新たに「遺品査定士」養成を開始。二カ月間の通信教育で、遺品に適正価格を付けることのできる専門家を養成する。

高齢化が進み、遺品買い取りのニーズは高まっている。廃棄に掛かる費用を一部賄えるほか、リユース(再利用)にもつながるためだ。

一方、新規参入企業も増加。遺品買い取りは古物商の許可を持てば可能

だが、本来品物ごと買い取り価格を提示する必要があるのを「まとめていくら」で安く買い取るケースが増えている。

遺品整理は、故人の遺品を「遺族に渡す物」と「廃棄する物」に分別する

作業。専門業者のほか、古物商や産業廃棄物の収集運搬業者、引っ越し事業者が手掛けることも。現在、九十以上の運送会社の社員が、遺品整理の専門知識を持つ遺品整理士に認定されている。大手事業者がシニア向けサービスの一環として参入するケースも出てきているという。(藤本 裕子)